

## 採点基準 世界史

※ 以下の加点ポイントは目安です(加点ポイントは< >でくり、得点として+1を付けている)。実際は個々の答案の状況に応じて採点しています。

※ 学習の成果を少しでも拾いたいため、部分点はできるだけ与える方向で採点していますが、実際の入試では同じ扱いとは限りません。完全な答案を目指して、しっかり復習しましょう！

※加点ポイントをすべて満たしていても、それ以外に明白な誤りがある場合は、満点を与えない。

※加点ポイントの合計が満点に達しても、設問全体の必須事項が欠けている場合は、満点を与えない。

### (1) 地中海における世界史上の海戦 (配点 40点)

#### 問2 32点満点

名称 アクティウムの海戦…2点 ※名称がなければ満点にしない

#### <1 政治面に与えた影響>

- ① 第2回三頭政治が行われていたこと…2点
- ② ①の人物：オクタウィアヌス…2点  
※ここで「アウグストゥス」は不可
- ③ ①の人物：アントニウス…2点
- ④ ①の人物：レピドゥス…2点
- ⑤ ③はクレオパトラと結んだこと…2点
- ⑥ ③はエジプトの女王であったこと…2点
- ⑦ アクティウムの海戦の結果、プトレマイオス朝（エジプト）が滅んだこと…2点
- ⑧ ⑦によりヘレニズム時代が終了したこと…2点
- ⑨ ローマの内乱が終了したこと…2点
- ⑩ ②が元老院よりアウグストゥスの称号を得たこと…2点
- ⑪ ⑩の結果、帝政ローマが始まったこと…2点
- ⑫ ⑪の時代、ローマが地中海を内海としたこと…2点
- ⑬ 「ローマの平和（パクス＝ロマーナ）」の時代を迎えたこと…2点

#### <2 経済面に与えた影響>

- ① 1の③の時代に商業活動が活性化したこと…3点
- ② ②の具体例：東方との季節風（モンスーン）貿易があったこと…3点
- ③ ②の貿易相手：中国・東南アジア・インド（または南アジア）などがあったこと…3点  
※2地域以上の指摘で3点。1地域の指摘では1点。  
※具体的地名：漢（後漢）・扶南（オケオ）・クシャーナ朝・サータヴァーハナ朝などでも可
- ④ ③から絹や香辛料などがもたらされたこと…3点  
※2つ以上の指摘で3点。1つの指摘では1点。

<3 論理構成点> (=上記加点ポイントの他に、論理展開を意識している答案に与えるプラスアルファの点。論述問題の解答は、単に歴史用語をつなげれば良いというわけではないことを受験者に理解してほしいために設けている。解答欄の右上欄外に、+1 または +2 を付けている。加点されない場合は数字なし)

- ① <1>で「ローマの平和」(ローマ帝国の最盛期)となったこと、<2>で季節風貿易による経済的繁栄について触れていること…2点

## (Ⅱ) イギリス産業革命 (配点 30点)

※選択した資料とそれに沿った説明がない際は、その部分について加点対象外。

※提示する資料の順序は問わない。

※資料を4つ用いていない場合は満点にしない。

### <資料ニ 18世紀中頃の世界貿易とヨーロッパ諸国の植民地>

- ① 資料ニを選択すること…2点
- ② ①で18世紀に多くの植民地戦争が行われていたこと…2点  
※「プラッシーの戦い」「フレンチ=インディアン戦争」など具体名も可
- ③ ②で海外市場を獲得していたこと…2点
- ④ ③の具体例：インド、北アメリカ…いくつ書いても2点
- ⑤ 大西洋三角貿易行ったこと…2点
- ⑥ ⑤により資本を蓄積していたこと…2点

### <資料ヘ 石炭・銑鉄生産量と綿花輸入量の推移>

- ① 資料ヘを選択すること…2点
- ② ①において石炭と銑鉄の生産量が上昇していること…2点
- ③ ②よりイギリスが豊富な資源を有していたこと…2点
- ④ ①において綿花輸入量が増加していること…2点
- ⑤ 綿産業が盛んになったこと…2点

### <資料ト 1700年から1845年およびそれ以降にかけての開放耕地の囲い込み進行状況>

- ① 資料トを選択すること…2点
- ② ①が第2次囲い込み(エンクロージャー)を表していること…2点  
※「囲い込み(エンクロージャー)」は1点 ※「第1次囲い込み」は不可
- ③ ②により農民が土地を追われていること…2点
- ④ ③が都市の労働力となったこと…2点

### <資料チ 1689年に定められた法律>

- ① 資料チを選択すること…2点
- ② ①が権利の章典であること…2点
- ③ ②からイギリスが市民革命を達成したこと…2点
- ④ ③の具体例：ピューリタン革命、名誉革命…いくつ書いても2点
- ⑤ ③により成長した市民階級が産業革命を支えたこと…2点

## <3 論理構成点>

- ① 正しい資料をすべて用いた場合(ただし、1つでも誤った資料を解答した際は不可)…2点

(Ⅲ) ベルリンの壁をめぐる現代史 (配点 30 点)

問 1 12 点満点

<資料リ ソ連共産党第 20 回大会>

- ① フルシチョフによる演説であること…2 点
- ② ①でスターリン批判を展開したこと…2 点
- ③ ①で東西両陣営の緊張が緩和したこと…2 点

<資料ヌ ハンガリーでの暴動>

- ① 反ソ暴動であったこと…2 点  
※「民主化運動であったこと」なども可
- ② ナジ=イムレが首相になったこと…2 点
- ③ ②はソ連の軍事介入を受け逮捕されたこと…2 点

<資料ル 東西ドイツの経済規模と東ドイツからの亡命者数>

- ① 東西ドイツ間の経済格差が 1950 年代から広がっていること…2 点
- ② ①の時期に東ドイツ (東ベルリン) から西ドイツ (西ベルリン) への亡命者が増加していること…2 点
- ③ ②のため、東ドイツ政府がベルリンの壁構築へと向かったこと…2 点  
※「ソ連がベルリンの壁を建設した」などは不可

問 2 18 点満点

※下線部は指定語句 (カードに書かれた出来事)。

※指定語句すべてを用いていないが、他の加点ポイントで満点になる場合は、全体から 1 点減点 (-1)。

- ① (1970 年代には) ベトナム戦争が終結したこと…2 点
- ② ①はベトナム和平協定 (パリ和平協定) によること…2 点
- ③ 東西ドイツ基本条約が締結されたこと…1 点
- ④ ③により東西両ドイツの独立を認めたこと…1 点
- ⑤ 東西両ドイツが国際連合に加盟したこと…2 点
- ⑥ 1970 年代に両陣営のデタントが進んだこと…2 点
- ⑦ 1970 年代末にアフガニスタン侵攻が行われたこと…1 点
- ⑧ ⑦はソ連によるものであったこと…1 点
- ⑨ ⑦により東西両陣営の緊張が高まったこと…2 点
- ⑩ (80 年代半ばに) ソ連でゴルバチョフが書記長に就任したこと…2 点  
※「ゴルバチョフがソ連の指導者となった」なども可
- ⑪ ⑩はペレストロイカを実行したこと…1 点
- ⑫ ⑩がグラスノスチ (情報公開) を推進したこと…1 点
- ⑬ ⑩がアフガニスタン撤退を実行したこと…2 点
- ⑭ 1980 年代末にベルリンの壁が開放されたこと…1 点
- ⑮ ベルリンの壁は冷戦体制の象徴であったこと…2 点
- ⑯ 冷戦の終結が宣言されたこと…1 点
- ⑰ ドイツ統一が達成されたこと…2 点

以上